



増幸産業社長 増田 幸也氏

自作の曲をライブで披露

おこしてくれたのがとてもうれしかった。段々と持ち歌が増え、約12年前に初めてライブを開催。そしてCDの制作にも着手した。曲は妻や子ども、父、友人、自然、社会などをテーマに歌っている。

4月に開催した「MA SUDA BAND 5thライブ」には約140人が集まった。開幕のあいさつでは若手社員がラップを披露。バンドメンバーのうち2人は社員で、リードギターとピアノを担当している。ドラムはギターの先生、ベースは町会長だ。ライブ開催の半年前から月に2回、会社をスタジオにして練習を重ねた。本番は大盛況だった。場数を踏むことでライブに慣れ、MCでも笑いを取れた。来場者からは「一体感があつたよ」とうれしい言葉をもらった。



リリースしたアルバムは5枚。自作の持ち歌は約80曲。アルバムを1枚制作するのに2-3年かかり、完成する度にライブを行っている。音楽を始めてから何事も楽しもうと人生観が変わり、社是の「おもしろ可笑しく一所懸命」を自ら実践している。

うよ」に衝撃を受け、高校1年生からギターを弾き始めた。家でボロンとかき鳴らす。その後は年に何回かギターを引っ張り出して演奏する程度。本格的に弾き始めたのは、仕事も軌道に乗ってきた40代半ば。何げなくギターを弾いていると「あーいしてるからなっ！」という曲がひらめいた。この曲が人生で初めて作った曲だ。

2、3曲と自作の持ち歌ができた。録音した音源を元に、知人のピアノが自作の曲を楽譜に

◇ 吉田拓郎の「結婚しよう



趣味を楽しむことで生活にメリハリがつく。約1年半前にかねて目標だった借入金ゼロを達成し、3年後には100周年を迎える。人生の集大成を表現するような曲も作りたい。作曲をしていると「どうやって作曲するの」と聞かれることがよくある。趣味のツーリング中に浮かんだり、夢の中で創作したりと意図せずに作曲することが多い。まずは節回しから始めてはどうだろうか。

(埼玉県川口市本町1の12の24)

曲は妻や子ども、父、友人などをテーマに歌っている